



中国やベトナムをはじめとする世界の情報を発信しています



組合新聞

2013年5月号

発行: 国際ビジネス情報協同組合

5月です♪G.Wです♪

10連休もあれば飛び石連休の方も嬉しい連休ですね!!

経営者の方には嬉しくない方もチラホラ…(笑)

最近よく見かけます…チェーン展開しているセルフ式うどん店
吉野家が展開する「はなまるうどん」に「つるまるうどん」に「丸亀製麺」

大人も子供も麺が大好きですもんね

今、大阪でも和歌山でも人気を集めているのが「丸亀製麺」
他社と違い冷凍ではなく自家製麺だから美味しいって理由!!

高いファミレスが数を減らし安価なファミレスが増え

今やセルフ式うどん店が大繁盛です

男性同士、家族、若い女性までもがうどんを食べています

個人のうどん屋さんには少々辛いかも!?

まだ行ったことのない方は、是非連休中に食べてみて下さい♪

～5月号掲載内容～

*論 説

*アベノミクスのショック療法

*金相場の暴落

*世界標準である金価格

*尖閣列島・南沙諸島

*中 国

*真夏の金融危機説

*汪洋副首相の発言に

*中国離婚ラッシュ…その訳は!?

*ベトナム

*外国人実習生度

*広島県の実習生による殺傷事件

*小野田寛郎氏

*兵 法

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

論説

近頃、安倍首相率いる日本政府が右翼化していると中国や韓国から批判が相次いでいます。また、組合情報までが右寄りだと言われることがあります。

一つの国が成り立つには当然にして国土・国民を守ることが基本であり、国民は平穩に暮らしたいと願うものです。果たして社民党が主張するように、国防の為の軍は要らないものでしょうか!?

外国が攻めてきたらどうするのでしょうか、外国で内戦が起こり緊急の事態に動ける人達が日本にいるのでしょうか、尖閣諸島に中国軍が攻めてきたら誰が日本を守るのでしょうか…米軍ですか!?

小学校で先生が教えてくれたでしょう…「自分のことは自分でしなさい」

もし自分の国を自分で守ろうとしない人がいるとすれば、その人は「平和ボケ」している人です。外国では通用しませんし外国では暮らせない人です。日本以外の全ての国にとっても過言ではないでしょう。「自身が自身で守る」ことが基本なのです。自国の事は自国で、日本は日本自身で守ることが必要なのです。

米国でも利害関係が絡み、何時中国と手を結ぶかかもしれません。

日本が右翼化しているのではなく、中国や北朝鮮などの国が極左化しているのです。中国は、日本とは尖閣列島、ベトナムとは南沙諸島、フィリピンとは中沙諸島、台湾とは東沙諸島問題と、これら全てが中国の覇権主義によるものでしょう。

備えあって憂いなし、こちらが強ければかかってきません。平和の代償はただではすみません。

アベノミクスのショック療法

現在のところアベノミクスは経済界では好感され、株価や輸出関連企業の収益を押し上げています。ここで少しおさらいをしてみましょう。

今回の日本のインフレ目標の設定はデフレ脱却の為の政策で、インフレ抑制の政策ではありません。

1990年前後、ニュージーランド・カナダ・英国・スウェーデンにおいて実施され、まずまずの成功を収めました。これはいずれも高インフレ率下でインフレ抑制の為の政策でした。アベノミクスは世界で初めてと言ってもいい、ある意味「実証実験」です。

リーマンショック後(2008年9月)、米国は通過供給量を3倍増やしたのに対し日本は1.4倍です。これでは円高になるのが当たり前でしょう。

日銀の黒田総裁はマネタリーベース(2012年末実績138兆円)を、14年末までに270兆円に拡大すると発表しました。さて、少し踏み込んで考えてみましょう。

270兆円は政府予算の3倍に近く、補正予算の13兆円は小さく見えます。その資金供給を2倍に増やす方策は毎月7兆円強の国債を買う計画です。1年で85~95兆円というところです。

一方、13年度市中発行額は126.8兆円なので新規国債の67%~71%を日銀が買取ることになります。また、長期国債について「発行後1年以内のもの内、発年限別の直近発行2銘柄を除く」としていましたが、これを撤廃しました。するとどうなるでしょう!?

民間の銀行は「新規発行の国債をすぐに日銀に持ち込めばいい」ということになります。

政府・日銀はショック療法を取ることで、心理的影響を市場に与えようとしているのでしょうか…はたまた…。

金相場の暴落

4月13日からベトナムに行っていたのですが、14日に金の先物取引会社から電話がありました。それは13日から突然に金価格が下がり始めたとの内容で、15日には過去最大の値下げ幅を記録したのです。15日発表までの2営業日に1トロイオンス(31.1035g)当り、約15万円値下がりしました。巷ではその原因を中国経済が変調する懸念などが今回の下落の引き金、日本の投機家により利食い圧力が原因など色々な話がありますが、有力な原因がない事が不安に不安を呼んだという事が本当の原因ではないでしょうか!?

筆者は金も含めて先物取引をしておりませんが、少しは知識を持っているつもりでしたが何故!?!という疑問が湧いてきました。その理由は次のようです。

変動の要因は

- ①「需要と供給」からくるもので、金の生産量と鉱山の生産量と宝飾等の需要で、近年の中国発展に伴う、具体的には指輪・ネックレス・置物など旺盛な需要です。
- ② もう一つは、この「需要と供給」と関係のない要因です。これは景気・インフレ・通過・株式・債券・国債情勢・ファンド等の要因です。

需給のバランスは当然として、②の要因が極めて分かり難いものです。

※直近の金価格は1469USDで日本円では143,815円です。

1. 景気とインフレ要因

インフレが強まれば通貨の価値は下落します。そうすると価値の下がらないものを求めるのが投資家であり我々です。金は元来下がらない物として需要が起きます。需要が旺盛になれば金価格が上昇するということになります…リスクヘッジ手段。景気が良くなれば電子部品や自動車産業の工業用需要が旺盛になり、金価格が上昇することになります。もちろん可処分所得(個人が使うことが出来る金)が上昇すれば貴金属価格も上昇し、当然にして金も上昇します。

2. 金利要因

景気浮揚策として金融緩和で金利が低下すると、少ししか金利が付かない預貯金より安全資産として金への魅力が高まります。また、景気過熱や労働市場の逼迫や原油価格の上昇で物価上昇率の上昇が予想されると、一般的にはインフレ貴金属の値上がりが予想され投資資金が金に向かうことになります。

3. ヘッジファンドは金相場に!?

金取引(先物相場等)で特に注意を要するのはファンドです。

私が考えるのは、金取引の基本は上記1と2の通りですが、注意を要する最大はファンドです。ヘッジファンドは巨額の資金を動かすので金相場を動向により大きく上下することになります。勝った負けたと、正に博打性が高いと言われていています。

総じて、金価格を左右する一番の原因は「投資家の心理」であり、これを人為的に左右するファンドなどの「投機家」ではないでしょうか!?

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

世界標準である金価格

金取引の世界標準はドル建ての金貨価格で金と米ドルは相関関係にあり基本となります。

国際商品である金では世界標準として米ドル建て価格となっており、米ドル高となれば割高感で市場での取引が縮小傾向となり下落、米ドル安となれば割安感から市場での取引が活発化して上昇します。

米ドル安＝割安感＝投資妙味が高まり投資意欲が大＝金価格の上昇

米ドル高＝割高感＝投資妙味が低下＝金価格の下落

昔から言われていた事です「有事の際には金を買う」という事です。金は米ドルと相互に代替する商品となります。

例えば、戦争が起こって国が潰れても価値は全世界共通です、何処へ逃げても通用するので

…中国の70年に一度の戦争の歴史の中で中国人の金好きも領けます。

米ドルへの信用力が低下し世界の金融不安に置かれている昨今、避難先としても「有事の金買い」は投資化の間でより一層意識されています。

参考)

1 トロイオンス…貴金属や宝石の国際的取引で用いられる単位で 31.103476 g

尖閣列島・南沙諸島

4月24日の予算委員会で民主党の徳永エリ氏への質問に、安倍首相は閣僚の靖国神社参拝に対する中国や韓国からの反発に「脅かしに屈しない」と強調しました。

安倍首相は「韓国では靖国について抗議をし始めたのは一体何時なのですか？ 盧武鉉(ノ・ムヒョン)時代が顕著になった訳でございます。金大中(キム・デジュン)時代にも少しありました。それ以前には殆どないんですから。中国においてもそうです、いわゆる A 級戦犯が合祀された時も彼等は当時の総理の参拝について抗議はしていなかった。ある日突然抗議をし始めた訳であります、国の為に尊い命を落とした尊いご英霊に対して尊崇の念を表する、これは当たり前のことであり、我が閣僚においてはどんな脅かしにも屈しない、その自由を確保しているのは当然のことだと思えます」と述べました。

また、「国益を守る、私達の歴史や伝統の上に立った誇りを守っていくのも私の仕事だ」と述べた上で「国益を削って関係が上手くいくという考え方は間違っている」として、中国や韓国の批判に譲歩する必要はないとの認識を示しました。

これより前の4月21日に靖国神社に参拝した麻生太郎副総裁は「祖国の為に命を投げ出した人に政府が敬する事を禁じる国はない」、古谷国家公安委員長も「国会議員として国の為に命を捧げた英霊に哀悼の誠を捧げるのは当然だ」と強調しました。

質疑の応答を少し見てみましょう。

□ 徳永議員(民主党)

「拉致被害者家族の方が非常に落胆しているという声が聞こえてくる、《こんな事で本当に拉致問題に取り組んでくれるのか》という声がある」と質問。

☆ 古屋埼担当大臣

この質問を聞いた古屋埼担当大臣は血相を変えて即座に反駁しました。

「それは全く聞き捨てならない話だ、是非お名前(誰が言っているのか)を言って欲しい」

◎ 安倍総理

「一体誰が落胆したのですか？ 拉致被害者家族の方々が言っておられたのに、言ったのであれば大変な問題になりますよ」と注意を促しました。

◎ 安倍総理

「徳永エリさん、拉致被害者が靖国参拝を落胆しているというのは本当ですか？ 裏も取らずに言ったらならこれは民主党を代表して質問しているのですから党としての質問なのですから大変な問題になりますよ」

□ 徳永議員(民主党)

タジタジ…。

解説)

勝手に拉致被害者を引き合いに出したのが丸分かりです。こんな人も国会議員です。自分を売り出そうと必死で作った原稿でしょうが、余りの思慮の無さに呆れ返ります。民主党はこんな党であって欲しくありません。先の大戦で亡くなった英霊、拉致被害者とその家族を愚弄する発言は許し難いものがあります。戦争とは悲惨で殺すか殺されるか、戦勝国は善で敗戦国は悪、言い換えれば日本が悪で米国・中国・韓国は善とし、これに乗っかり日本を悪とする愚か者が国会議員とは本当に呆れ返るではありませんか。

参考)

徳永エリ 参議院議員(民主党)

生年月日：1962年1月1日(51歳)

出身地：北海道札幌市

出身校：法政大学法学部法律学科(通信教育過程)中退

前職：みのもんたさんの元付き人・テレビリポーター・飲食店経営・画像製作会社経営

当選回数：1回

中国

戦闘機スホイ 35 を 24 機も？

これはロシア製最新鋭戦闘機で、このスホイ 35 を 24 機、15 億ドル(約 1,500 億円)以上で購入するという報道があります。1 機にあたり 62 億 5 千万円の代物です。

当初 4 機の購入を働きかけたロシア側にしたのですが、ロシア側は 48 機でなければ売らないと譲らず、3 月 22 日に習国家主席がプーチン大統領と会談する直前に 24 機で合意しました。

高い…しかも 24 機…その理由は何なのでしょう!?

中国は自国の軍事技術が米欧やロシアに比べて大きく見劣りし、中国には技術がなくフランスは最新鋭機を売ってくれません、どうすればいいのか…追い付く為には技術を買うしかないが何処の国も技術を売ってくれません、そこで最新鋭機を買って技術をコピーする…中国らしいね。

昨年 9 月に就役した初の空母「遼寧」はその象徴です。ウクライナから購入して改修した世界第一位の外貨準備(3 兆 4 千億ドル(日本の 3 倍近く))は背景にロシアから戦闘機を買って技術をコピーする方向性を重視しているのです。中国の新幹線と同じですね。

反対に日本防衛産業技術革新は難しい。その理由は F2 戦闘機の生産も終わり次は F35 を米英など 9 ヶ国の共同開発です。しかし日本企業は部品を作るだけで開発には加わっておらず、しかも部品の輸出は政府が「武器輸出三原則の例外」とすることで、かろうじて道が開かれていることのみなのです。

ある敵と戦うことを想定すれば負けるという不安がある場合は抑止力が働き、不測の事態は避けられる…日本頑張れ!!

真夏の金融危機説

日経新聞などによると中国の「金融危機の可能性の最も高いのはこの夏だ」とし、中国系シンクタンクの研究者が外部に流出しました。

議事録には「新たな指導者は就任後 3~5 ヶ月の間に前任者の問題を徐々に明らかにする傾向がある」先送りされた犬猿を処理する一方でその責任を前者に押し付ける…政治的ギリギリのタイミングが 5 ヶ月以内だとういう訳です。

中国の資金供給量が 100 兆元(1,600 兆円)を超えました。これは国内 GDP の 2 倍近くになります。カネの供給量が膨らんで金融の影の部分が急速に広がっています。確かに現在中国では高利回りで集めた資金を地方のインフラに回す仕組みがあります。昨年 12 月、中国中堅の上海郊外の華夏銀行支店に投資家が「金返せ」と喚びかけた事件がありました。同行が 11%の金利で販売した金融商品の元利金が期日に返済されなかった為でした…理財商品。

その理由は投資先メーカーの資金繰りが悪化し元利払いに行き詰まったからでした。こんな事は過去にもありましたが労働人口が減る一方で潜在成長率が悪化しています。

汪洋副首相の発言に

4 月 16 日、北京を訪問した元衆議院議長と会談した際に汪洋副首相が「今日の中国の発展は日本や日本企業の支援と協力に助けられたことが大きい」「経済大国である日中両国はどんな事があっても経済関係を深めることだ」と述べました。リップサービスの当たり前発言ですが、さてここからが問題です。

中国のインターネットに汪氏を「売国奴」と罵倒する書き込みが殺到しました。日中戦争中に親日政権を作った中国の政治家である汪兆銘と同じ姓である事から「汪兆銘の息子は切腹しろ」という書き込みもありました。考えてみましょう。中国のインターネットは検閲されているので普通であれば当然削除行きの書き込みです。でも削除されないのは何故!?

習主席は「領土・主権問題は何より優先されるべきだ」と繰り返し発言しています。推測して下さい…汪洋副首相、李源潮国家副主席は前主席の胡錦濤派です。そうです、ネット規制を主導する保守派の劉雲山政治局常任委員が汪氏のイメージダウンを図る為に放置し、これを許しているのが習近平国家主席ではないのでしょうか!? 劉氏は習氏に近いと言われています。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

中国離婚ラッシュ…その訳は

中国で離婚ラッシュ…これには深い訳があります。

- ①不動産を複数所有する人が物件を売却する際には、売却益に対して 20%の税金を課す
- ②2 軒目の住宅を購入する場合、必要とする頭金の比率とローン貸出金利を上げる

中国政府は上記の 2 点を柱とする不動産価格の抑制策を打ち出しました。言うに及ばずと投機目的の不動産売買を防ぐことを目的としています。またこれは世帯単位で課税されます。そこで中国では「上に政策あれば下に対策あり」と中国政府がどのような政策を施行しようとも、民衆はそれを骨抜きにする方法を考え出します。それが…

「離婚すれば 2 家族になる」売却した時の税金も安くなり、買う時はローン金利が安くなります。離婚して夫婦それぞれ別々に不動産名義を分ければ売却しても 20%の課税は免れます。不動産を買う場合は貸出金利を上げられません。

不動産が高くなる前に今のうちにもう 1 軒子供にマンションを買っておきたいが、2 軒目だから銀行金利が高くなります。夫婦離婚すれば 2 家族になります…という事で離婚してもう 1 軒買いました。

新婚間もない夫婦、2 軒目買うなら離婚した方が良いと銀行から勧められそうですが、愛より金か、それとも愛ゆえに離婚か、離婚後にまた結婚か…あなたならどうします!?

中国では理由はどうであれ離婚が急増しています。上海・北京・武漢・南京・寧波などの都市部でだそうです。

ベトナム

ベトナム友好会出席と、外国人送出し機関の視察、日本からベトナムへ進出する企業の建設現場の視察を兼ねてベトナムに行ってきました。少しの観光もありましたが数日間ハノイとホーチミンに滞在しました。

ベトナムではいつものことですが、驚かされるのはバイクの多さで夜になるとバイクの群れだらけで信号が青になるのを待ち構えて一斉にスタートダッシュ。これが数え切れない程のバイクでレース場のスタートと同じです。そのバイクの上に乗っているのは基本的には 2 人以上で 1 人乗りは殆どありません。男性と女性、そこに子供と 4 人も乗っているバイクも時折見かけました。その殆どがホンダのバイクです。

ハノイの人口は約 650 万人、バイクの所有数は 350 万台、
ホーチミンの人口は約 740 万人、バイクの所有数は 370 万台以上です。

国 名：ベトナム社会主義共和国

歴 史：1800 年半ばまで中国に支配され、中国文化の影響を受け漢字・言葉(広東語)が今でもお寺に残っています。これ以後、フランス領とインドシナとして 1945 年には日本の援助下でベトナム帝国が独立しました。

1949 年：フランスはサイゴン(ホーチミン)にバオダイ(最後の皇帝)を復位させてベトナム国として独立を認める。また、中国・ソビエトはベトナム民主共和国を承認。

1954 年：ディエンビエンフーの戦いでフランスは敗北しベトナムから撤退、独立戦争終結と同時に国土がベトナム民主共和国(北ベトナム)とベトナム国(南ベトナム)に分断されました。

1962 年：ベトナム戦争が始まりました。

1975年：米軍が軍事介入した南ベトナムが敗退し、以後南北が統一されました。以後ハノイは政治の中心地、ホーチミン(旧サイゴン)は経済の中心地となっています。

ベトナムは一党独裁の共産党の国で、国家主席はチュオ・タンサン、首相はグエン・タン・サンです。

ホーチミン市は元々サイゴン市と呼ばれ、初代国家主席の名前を取って南北統一後にホーチミン市に改名されました。特徴のあるコーヒー、フランス料理の美味しい訳は、旧フランス領の故にあったのでしょうね。

ベトナムという国は中国・フランス・アメリカの国々に占領され植民地の歴史の国とも言えます。

日本との時差は-2時間で通貨はドン(現在1円は0.021ドン)です。

ベトナムドン

あなたはドンの価値を理解できますか!?

レストランで食事をして支払おうとしました。

私：幾らですか？

店員：1,000,000ドン頂きます…こんなに沢山払うのか!？ 約4700円です。

近いところなのでタクシーに乗りましょう

メーターを見ると11,000vnd、さていくらでしょう？ 約52円です。

一番大きいお札は500,000ドン、日本円で2350円、続いて200,000ドン、100,000ドンです。

写真は信号待ちと一斉にスタートするバイクの群れです!来月6月号に詳しく掲載します!!



外国人実習生度

外国人実習生度は発展途上国への技術移転と人材育成を目的とした制度です。

総務省は 98%が賃金の未払いなどが発覚した実習先で、監査において不正が見落とされていると法務、厚生労働省に改善を勧告しました。

当組合で胸を張って監査をしていますが、それでも悩みがあります。

実習生に対しては「来日してよかった」と言って 3 年後に帰国出来るように…その為には実習生の一番の目的はお金であろうが、日本において知識(技術・良い習慣)を勉強して帰って欲しいと講習会(約 1 ヶ月)で教育しています。

また受入れた企業様には「この趣旨に沿って実習をして欲しい」とお話をしています。これで問題が出てくるのか!? 出てくるのです…。

実習生の実習する為に来日する目的は間違いなくお金ですし、企業側は安い賃金で雇用したい。そうすると実習生は残業したいと企業側に働きかけ、企業側では残業をさせる傾向があります。そのような傾向の多い業種にも特徴があり、低賃金でないと成り立たない業種で、時期的に左右される企業です。この制度を抜本的に変えない限り、いくら規制をしても同様の事が間違いなく起こります。

広島県の実習生による殺傷事件

広島県の牡蠣養殖業者で起こった悲しい出来事。

江田島市の水産加工会社で従業員ら 9 人が死傷した事件では、中国人技能実習生の陳双喜容疑者(30)が殺人と殺人未遂の疑いで再逮捕されました。どうしてでしょう!?

陳容疑者は県警の取調べに対し「他の従業員から悪口を言われた気がした」と供述しています。一方経営者や従業員達は揃って、時には叱責もしたが可愛がっていたとしています。この原因は陳容疑者の妻が別の男と駆け落ちし情緒不安定になっているところに職場の皆に馬鹿にされた上に社長に叱責されたと供述し、中国の友人には電話で「中国人みんな悪い」などと口走っていたと直接の理由を供述しています。

防げなかったのか検証してみましょう。

実習生は外国人です、中々日本で友人を見つけることが出来ません。当然ホームシックにかかり情緒不安定になることを想定しなければなりません。この場合実習生は女性ばかりの中で陳容疑者は男一人だけでした。真面目ですが日本語はつたなく友人もおらず話し相手もいません。対策はどのようにすれば良かったのでしょうか?

実習生の企業への受入は、必ず男子も女子もそれぞれ複数であること、出来れば偶数人数が最もよく、同国人同士が話し相手になり悩み事などの相談も出来ます。

次に受入組合は 1 ヶ月に 1 度以上は実習生の話を聞いてあげる事が必要です。あなたが外国に行った場合を想定して下さい。外国にいる現地の人の中に日本人がいると日本人というだけで信用したり、日本語を話す外国人を見ると親近感が湧くものです。これはコミュニケーションがとれる同国人というだけで信頼の基盤が出来ているからです。

実習生は 3 年という日を日本で滞在しているのです。組合や受入企業の少しの配慮が研修生の「日本に来て良かった」、企業の「受け入れて良かった」に繋がるのです。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

小野田寛郎 氏(おのだ ひろお)

突然ですが、読者はこの人物をご存知でしょうか!?

1992年(大正11年)3月19日生まれの91歳、和歌山県海草郡亀川村(現海南市)生まれ、父親は県会議員、母親は教師、兄は軍医と曹長で弟は少尉。

旧制海南中学を卒業し貿易会社へ就職、中華民国漢口(現武漢)に渡り中国語を習得しました。

そうです!! フィリッピンルバング島から最後の日本兵として生還したアノ小野田寛郎さんです。

小野田さんは上海で働いていましたが、1942年に現役兵として入隊、その後幹部候補生に合格し陸軍師範学校に入校し、中国語や英語が堪能だった事から情報学校「陸軍中野学校」で入校、情報将校として退校命令を受領しました。

陸軍中野学校と言えば、エリート中のエリートが入校する極秘任務を遂行する諜報員、いわゆるスパイを養成する教育機関です。上記の退校とは、中野学校での軍歴を残さない為の卒業に変わる意味で退校と言いました。

1944年12月、遊撃戦(ゲリラ)指導の任務を与えられ、上司の横山静雄中将から「玉砕は一切まかりならぬ、3年でも5年でも頑張れ、必ず迎えに行く、それまで兵隊が1人でも残っている間はヤシの実を齧ってでもその兵隊を使って頑張ってくれ。いいか、重ねて言うが玉砕は絶対に許さん、わかったな」と命令を受けました。

また、これより前に司令部が持っている情報は全て教えられ、日本が占領された後も連合軍と戦い続けるとの計画の下でフィリッピンに派遣されました。

派遣前に母親から「敵の捕虜となる恐れがある時にはこの短刀で立派な最後を遂げて下さい」と短刀を渡されていたのです。この短刀は帰国後、実家に帰った際に母親に返しています。

1945年8月を過ぎても任務解除の命令が届かなかった為に、中津雄一一等兵と共に戦闘を継続し、フィリッピン政府は「アメリカの傀儡」と解釈し、持久戦法により在比アメリカ軍に挑み続け襲撃や狙撃、攪乱攻撃を繰り返し、合計百数十回もの戦闘を展開しました。

手に入れたトランジスタラジオを改造して短波受信機を作り、アメリカ軍基地の倉庫から奪取した金属製ワイヤーをアンテナに使うことで独自で世界情勢を判断しつつ、友軍来援に備えました。また、ゲリラ戦での主な食糧として島内の野生牛を捕獲して乾燥肉にし、自生するヤシの実を拾っては命を繋いでいました。

～青年 鈴木との出会い

1974年に日本の残留兵の搜索活動に触発された日本の青年、鈴木紀夫が現地を訪れ2月20日に小野田氏との接触に成功しました。

鈴木は日本が敗北した歴史や現代の状況を説明して帰国を促し、小野田も直属の上官の命令解除があれば任務を離れる事を了承する。

3月9日にかつての上司である谷口義美下少佐と同行し、文語文による山下泰文大将名の「尚武集団作戦命令」と口達による「参謀部別班命令」で任務解除・帰国命令を読上げました。

翌3月10日にかけて小野田氏は谷口元少佐にフィリッピンの最新レーダー基地等の報告をする。小野田氏はフィリッピン基地に着くとフィリッピン軍司令官に軍刀を渡し降伏意思を示したが、この時小野田氏は処刑される覚悟だったと言われる。

フィリッピン軍司令官は一旦受け取った軍刀をそのまま小野田に返し、司令官は小野田を「軍隊における忠誠の見本」と評しました。小野田氏の投降式にはマルコス大統領も出席し武装解除されました。その際マルコス大統領は小野田氏を「立派な軍人」と評しています。

こうして小野田氏にとっての戦争が終わり、3月12日に帰国を果たしました
小野田氏は足跡を残すことを恐れて、暦は全て頭の中の記憶だけで把握、30年の暮らしで僅か6日間しかずれていなかった。

～30年間、戦争は終わっていなかった

小野田氏発見当時は51歳でしたが自分の寿命を60歳と決めており、後9年経って60歳になったらレーダー基地に決死の突入攻撃をして果てる覚悟だったという。

中国では「鳳凰網」というウェブサイトに歴史総合ページで紹介されました。その中で「小野田氏は真の軍人だ」「この兵士の精神を全世界が学ぶべきだ」「大和民族は恐るべき民族、同時に尊敬すべき民族」などと賞賛する書き込みがあり、肯定的に評価する投稿の方が若干多かった。反日的な意見が多い当該サイトの書き込み欄では異例の反応でした。

～現在の我々が考えねばならぬところ

30年もの間ジャングルで日本国の為に戦ってきた人、小野田氏は日本人の手本であり誇りです。現在の日本は「日本を思う心」や「大切に作る心」など余りにも日本人としての自覚が欠けているのではないのでしょうか？

現在、小野田氏は川崎市の「金属バット事件」を知り、自然と通し健全な子供達に育つよう「財団法人 小野田事前塾」を開催しています。今まで2万人の子供達がこのキャンプに参加しているということです。 <http://www.onodashizenjuku.or.jp/juku.html>

その他、幾つか小野田氏に関係することをご紹介します!!

★小野田氏による講演会

【なかひらまい・小野田寛郎 名草戸畔を語る】

- 日時：2013年5月5日(日) 開場：12:30 開演：12:45 終演予定：14:30
- 場所：アバローム紀の国 鳳凰の間
和歌山市湊通丁北 2-1-2 073-436-1200
- 出演：小野田寛郎・なかひらまい・司会 加藤一郎
- 入場料：1500円(当日2000円)
- 主催：テレビ和歌山・和歌山放送 後援：和歌山県・和歌山市・海南市

★ 小野田氏が帰郷した日のある一日をアルバムに

日本に帰国後、故郷である和歌山県海南市の生家に帰ってきた当時の記録があります。この一日を筆者の友人であるフォトグラファーがカメラに収め、4月24日にアルバムを発刊しました。

【或る一日 産木 民彦写真集】

時を経て忘れられている忘れられた日本人の心が感動として伝わってきます。

ご希望の方は下記に直接ご連絡、又は当組合にお電話下さい。

写真集題名【或る一日】2000円(税込)

TEL/FAX：073-482-1992

お振込先；きのくに信用金庫内海支店

(普通)口座番号 0965915

名義：シイザキ ヨシタカ



★小野田氏の実体験～小野田氏が見た従軍慰安婦の正体

小野田氏が書いた従軍慰安婦の記事がありました。非常に内容が濃いものですので、転写しました。

http://www4.airnet.ne.jp/kawamura/enigma/2005/2005-01-16-onoda_ianhunoshoutai.html

小野田寛郎「私が見た従軍慰安婦の正体」正論1月号より

首相の靖国神社参拝や従軍慰安婦の問題は、全く理由のない他国からの言いがかりで多くの方々が論じているところだ。南京大虐殺と同様多言を弄することもあるまいと感じていたのだが、未だに妄言・暴言が消え去らない馬鹿さ加減に呆れている。

戦争60年、大東亜戦争に出征し戦場に生きた者たちが少なくなりつつある現今、私は証言として「慰安婦」は完全に商行為であったことを残そうと考えた。

外地に出動して駐屯する部隊にとって、治安維持と宣撫工作上最も障害になる問題は、兵士による強姦・略奪・放火である。そのためどここの国もそれなりの対策を講じていることは周知の通りである。大東亜戦争時、戦場には「慰安婦」は確かに存在した。当時は公娼が認められている時代だったのだから至極当然である。

野戦に出征した将兵でなくとも、一般に誰でも「従軍看護婦」と言う言葉は常識として知っていたが、「従軍慰安婦」と言う言葉は聞いた者も、また、使った者もいまい。それは日本を貶める為に後日作った造語であることは確かだ。

淫らな言葉だが、中国戦線では「ツコン・ピー」「チョウセン・ピー」と呼んでいた筈であるが、他の人の見ている所でする筈のないことだけに、「慰安所」のことも「慰安婦」のことも公の場で自己の見聞を正確に発表する人が少ない。あまり詳しいと「よく知ってるね」と冷笑されるのが落ちだろう。

では何故、君は、と私に聞かれるだろうが、幸い私はその実態を外から観察出来る立場にあったから、何も臆することなく、世の誤解を解くために発表することが出来るのだ。

～漢口(現武漢)の「慰安所」を見学

商社員として十七歳の春、中国揚子江中流の漢口(現武漢)に渡った私は、日本軍が占領してまだ五ヶ月しか経っていない、言わば硝煙のにおいが残っているような街に住むことになった。当時、漢口の街は難民区・中華区・日華区・フランス租界・日本租界・旧ドイツ租界・旧ロシア租界・旧英国租界に分かれていて地区ごとにそれぞれ事情に合った警備体制が敷かれていた。

日華区とは日本人と中国人が混じって住んでいる地区で、そこに住む中国人は中華区に住む者と同様「良民証」を携帯しており、そうでない者は警備上難民区に住まされていた。難民区は日本兵も出入り禁止されていて、私たち居留邦人は届け出て許可を得なければ出入り出来なかった。それだけ危険な場所だった。

私は仕事が貿易商だから、難民区以外はよく歩いた。ある日、汚れた軍服を着た兵士に「慰安所はどこか知りませんか」と路上で尋ねられ、一瞬思い当たらず戸惑った。しかし看板に黒々と「漢口特殊慰安所」と書いて壁に掲げていて、その前に歩哨と「憲兵」の腕章をつけた兵隊が立っている場所を思い出したのでその通り教えてあげた。映画館と同様に日華区にあった。汚れた軍服から推測し、作戦から帰ってきた兵士に間違いはない。街を警備している兵士は、そんな汚れた軍服で外出してないからだ。

私は「特殊慰安婦所」か、なるほど作戦から帰った兵士には慰安が必要だろう、小遣い銭もな

いだろうから無料で餅・饅頭・うどん他がサービスされるのだろうと早合点していた。

ところが、私の知人が営む商社は日用品雑貨の他に畳の輸入もしていて、それを「慰安所」にコンドームなどと一緒に納入していたので「慰安所」の出入りが自由であった。彼に誘われて一般在留邦人が入れない場所だから、これ幸いと見学に行った。

私たちは、憲兵に集金の用件を話してまず仕事を済ませた。日が暮れていたの「お茶っぴき」(客のない遊女)が大勢出てきて、経営者と私たちの雑談に入ろうとしてきたが追い払われた。そこには内地人も鮮人も中国人もいた(現在、鮮人は差別用語と見なされ、使われない。しかし朝鮮半島が日本統治だった当時は「日本人、朝鮮人」などと言おうものなら彼らに猛烈に反駁された。彼らも日本人なのだからと言う理由である)

群がってきた彼女たちは商売熱心に私たちに媚びてきた。憲兵は特別な事情の時以外は、部屋の中で調べに来ないからである。料金は女性の出身地によって上中下がある。また、日中に限られるが、下士官は門限が長く、将校になれば終夜利用出来る。料金も階級の上の方が割高で女性たちは当然、同じ時間で多く稼げることになる。

半島出身者に「コチョ(伍長一下士官)かと思ったらヘイチョウ(兵長一兵士)か」、「精神決めてトットと上がれネタン(値段)は寝間でペンキョウ(勉強)する」とか、笑うどころではない涙ぐましいまでの努力をしているのも聞いた。内地人のある娼妓は「内地ではなかなか足を洗えないが、ここで働けば半年か一年で洗える」といい、中には「一日に二十七人の客の相手をした」と豪語するつわものもいた。

～どこにもいなかった「性的奴隷」

ここで親しくなった経営者の話を紹介しよう。「体力的に大差がない筈なのに、内地人は兵士たちと言葉が通じるために情が通うのか、本気でサービスして商売を忘れ健康を害してしまう。そのために送り返さねばならず、経営者にとって利益が少ない。兵隊さんには内地人ばかりで営業するのが本当だが」と本音を漏らしていた。

私の育った街には花柳界があったので、芸妓と酌婦をよく目にしたが、当時は玄人女と呼ばれた彼女たちの外出姿でも一般の女性と見分けることが出来た。その目で見れば漢口の街でも同様だったが特に朝鮮人の女たちは特色があった。というのは、彼女たちは数人で外出してくるのだが民族衣装ではなく、着慣れないツーピースの洋装のせいで着こなしが悪く、また歩き方にも特徴があって一目で見分けられた。

彼女たちは実に明るく楽しそうだった。その姿からは今どきおおげさに騒がれている「性的奴隷」に該当する様な影はどこにも見いだせなかった。確かに、昔からの言葉に、「高利貸しと女郎屋の亭主は畳の上で往生出来ぬ」というのがあった。明治時代になって人身売買が禁止され「前借」と形は変わったが、娘にとっては売り飛ばされたことに変わりはない。

先述の「足を洗う」とは前借の完済を終えて自由の身になることを言うのだが、半島ではあくどく詐欺的な手段で女を集めた者がいると言う話はしばしば聞いた。騙された女性は本当に気の毒だが、中にはこんな話もある。「『従軍看護婦募集』と騙されて慰安婦にされた。私は高等女学校出身なのに」と兵士や下士官を涙で騙して規定の料金以外に金をせしめているしたたかな女もいた。またそれを信じ込んでいた純な兵士もいたことも事実である。日本統治で日本語が通じた故の笑えない喜劇でもある。

ところで、その「慰安所」にどれだけの金 flowed のだろうか。これが「慰安婦」が「商行為」であった確かな事実である。私の次兄が主計将校で、漢口にある軍司令部に直接関係ある野戦衣料府にいたので「慰安所」について次のような統計があると教えてくれた。

当時、漢口周辺には約三十三万人という兵力が駐屯していたが、ある理由で全軍の兵士の金銭出納帳を調べた。三分の一が飲食費、三分の一が郵便貯金、三分の一が「慰安所」への支出だった。貯金は給料の僅かな兵士たちにとって嬉しいことではなかったが、上司から躰として教えられている手前せざるをえなかったのが実情だった。私も初年兵として一ヵ年、江西省南昌にいたが、食べたいのを我慢して貯金した。

一人の兵士がそれぞれ三等分して使った訳ではないだろうが、人間の三大欲は食欲、睡眠欲と性欲と言われるだけに、貯金を睡眠に置き換えると全く物差しで測った様な数字である。ちなみに当時の兵の給料は一ヶ月平均十三円程で、その三分の一を約四円として計算すると三十三万人で総額約百三十二万円になる。「零戦」など戦闘機一機の価格は三万円と言われたが、実に四十四機分にも相当する。

サラリーマンの初任給が四十円底々の頃だったのだから、経理部の驚くのも無理のない話である。以上が、私が商社員として約三年半の間、外部から眺め、また聞き得た「慰安所」と「慰安婦」の実態である。

私が漢口を去った昭和十七年夏以降に、漢口兵站(作戦軍の後方にあつて車両・軍需品の前送・補給・修理・後方連絡線の確保などに任ずる機関)の副官で「慰安所」等を監督した将校の著した『漢口兵站』と照合してみたが、地名・位置等について多少の相違点は見いだしたが、本題の「慰安所」について相違はなく、より内情が詳しく記されていた。これで誰がどう考えても「商行為」であるとは言いようがないだろう。

～問題にして騒ぎ出す者たちの狙い

次に、軍関与の暴論について証言する。私は二十歳で現役兵として入隊、直ちに中支の江西省南昌の舞台に出征した。初年兵教育が終わって作戦参加、次いで幹部候補生教育、途中また作戦と、一ヵ年一度の外出も貰えずに久留米の予備士官学校に入校してしまったから、外出して「慰安所」の門を潜る機会に恵まれなかった。

だが初年兵教育中、古い兵士には外出がある。外出の度にお土産をくれる四年兵の上等兵に「外出でありますか」と挨拶したら「オー、金が溜まったから朝鮮銀行に預金に行くんだ」と笑って返事をしてくれた。周りは周知の隠語だからクスリと笑うだけだった。

南昌には師団司令部があつた。「慰安所」には内地人も朝鮮人も中国人もいて、兵士は懐次第で相手を選んで遊んだのだろう。私は幹部候補生の教育を南昌から三十キロ以上も離れた田舎の連隊本部で受けた。

「慰安所」は連隊本部の守備陣地の一角に鉄条網で囲まれて営業していた。教育の末期に候補生だけで本部の衛兵勤務につくことになった。もちろん勤務は二十四時間である。

私は営舎係だったので歩哨に立たないから何度も歩哨を引率して巡察に出た。巡察区域の中に「慰安所」も含まれていた。前線の歩哨は常時戦闘準備をしている。兵舎内の不寝番でさえ同様だ。鉄帽を被り、銃には弾を装填し夜間はもちろん着剣である。その姿で「慰安所」の周囲だけならまだしも、屋内も巡察し、責任者の差し出す現在の利用者数の記録を確認する。軍規の維持とゲリラの奇襲攻撃を警戒しているからである。

考えてみるまでのない、そこで遊んでいる兵士は丸腰どころではない。もっと無防備で無用心な姿の筈である。その将兵を守るべき責任は部隊にあるのは当然だ。それに性病予防の問題もある。そんな田舎に医師や病院がある筈がない。性病予防のため軍医や衛生兵が検査を実施するしかない。

「慰安所」の経営者は中国人だったし、日本では当時後任の娼妓と呼ばれた女たちも中国人だった。彼らも食糧やその他の生活用品が必要だ。大人数なのだから、それなりの輸送手段もある。辺鄙な場所だから部隊に頼る以外方法がない。部隊が移動する時もそうなるだろう。

私の話す湖北省の言葉もだいたい通じたので、経営者と立ち話をして彼女たちについてそれなりの様子も聞き出せた。今でも「慰安所」の両側に部屋のある中廊下を巡察した不粋な自分の姿を思い出すが、こんな漫画にもならない風景が現実にあったのだ。これは私の部隊だけではないと思う。

もう六十年も昔のことである。時代が変わり、また平時と戦時の違いもある。したがって娼妓(ここでは慰安婦に相当する)に対する解釈も当然変化している。そうであるにもかかわらず、すでに証拠も不完全になっていることを幸いに、今更これを問題にして騒ぎ出す者たちの狙いは何なのか。言えることはただ一つ、不完全だからこそ喚き散らしていれば何かを得られると狙っているということだ。

戦場に身を曝し、敵弾の洗礼を受けた者として最後に言う。このことだけは確かだ。野戦に出ている軍隊は誰が守ってくれるのだろうか。周囲が全て敵、または敵意を抱く住民だから警戒を怠れないのだ。自分以上に強く頼れるものが他に存在するとでも言うのなら話は別だが、自分で自分を守るしか方法はないのだ。

軍は「慰安所」に関与したのではなく、自分たちの身を守るための行為で、それから一歩も出ていない。

「異常に多く実を結んだ果樹は枯れる前兆」で「種の保存の摂理の働き」と説明されるが、明日の命も知れぬ殺伐とした戦場の兵士たちにもこの「自然の摂理」の心理が働くと言われる。彼らに聖人君子か、禅宗の悟りを開いた法師の真似をしろと要求することが可能なのだろうか。

現実には少ない給料の中から、その三分の一を「慰安所」に持って行ったことで証明されている。有り余った金ではなかったのだ。

「兵隊さん」と郷里の人々に旗を振って戦場に送られた名誉の兵士も、やはり若い人間なのだし、一方にはそうまでしてでも金を稼がねばならない貧しい不幸な立場の女性のいる社会が実際に存在していたのだ。買うから売るのが売るから買うのかはともかく、地球上に人が存在する限り、誰も止めることの出来ないこの行為は続くだろう。根源に人間が生存し続けるために必要とする性が存在するからだ。

「従軍慰安婦」なるものは存在せず、ただ戦場で「春を売る女性とそれを仕切る業者」が軍の弱みにつけ込んで、利益率のいい仕事をしていただけのことである。こんなことで騒がれては、被害者はむしろ高い料金を払った兵士と軍の方ではないのか。

「正論 一月号より」

歴史を、実の体験を現在社会のルールで判断することは難しいが、先人の苦労を忘れることなく現社会に生きる我々は何と幸せなことか、感謝しなければなりません。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp

兵法

前月に引き続き兵法のお勉強、本月は「29・30・31計」です。

～第二十九計 樹上開花(じゅじょうかいか) 樹に花を咲かす

欺瞞的で狡猾な手段を借用し、大仰に騒ぎ立て他軍の局面を借りて有利な陣形を作れば、兵力が弱小であっても陣容を強大に見せることができ、敵軍を震撼させる作戦である。

～第三十計 反客為主(はんかくいしゅ) 反って客が主に為る

機に乗じて介入し前進し敵軍を吸収し、あらゆる手を尽くして敵軍の主要な機関と要害を支配下に置き、手順に従って漸進し戦争の主導権を勝ち取る作戦である。

～第三十一計 美人計(びじんけい) 美人を用いよ

美女(金品を含む)で敵を誘惑して女色に溺れさせ闘志をなくさせて勝利を収める作戦。勇猛な将兵を擁する手期限に対しては、敵軍の武将の闘志を打ち砕かなければならない。武将が闘志を失えば将兵の士気も衰え戦力は自然に低下するのを待ち勝利を勝ち取る作戦である。

中国に関する情報、ご意見、ご相談、またはご意見等々お待ちしております。

投稿先: info@ibia.or.jp